

## 人口減少時代の地域コミュニティをえがく

高崎経済大学 地域政策学部

櫻井 常矢

## 1. なぜ今、地域づくりなのか

## □ 多様化・深刻化する地域課題

高齢化・人口急減、一人暮らし世帯、災害、地域安全、介護(予防)、生き方探し・・・

行政だけでは解決できない課題 求められる地域の力

## □ 地域の課題を解決すること

地域団体、自治会の現実

自己完結することの限界 「自分たちだけで解決することは・・・」

協働型コミュニティ経営へ

⇒ 地域コミュニティが抱える矛盾

## 地域運営組織 (Region Management Organization)

【総務省調査報告書より】

『地域の暮らしを守るため、(中略) 地域内の様々な関係主体が参加する協議組織が定めた地域経営の指針に基づき、地域課題の解決に向けた取組を持続的に実践する組織』

『地域課題を共有し、解決方法を検討するための「協議機能」と、地域課題解決に向けた取組を実践するための「実行機能」を有する組織』

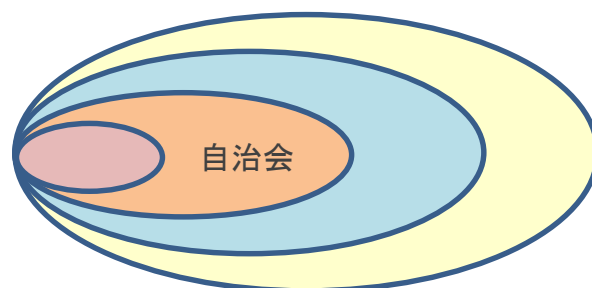
## 【いくつかの共通項】

- a) エリア：小学校区
- b) 活動拠点：公民館
- c) 事務局機能の強化
- d) 各種の制度：〔行政〕方針、計画、条例 / 〔地域〕ビジョン・計画
- e) サポート体制：財政支援、人的支援、サポートセンター（中間支援施設）

## 2. RMO（広域コミュニティ）の考え方と推進課題

### □ 既存団体と RMO との関係

補完機能としての RMO                      狭域自治と広域自治  
公費負担による自治の強化



### □ 従来型事業（補助金）と各種団体との関係

残存させたままでの広域自治                      重層化する各種団体  
既存の取り組みをともに相対化すること  
例：地域事業（団体）の整理・連携・統合

## 3. 当面の取り組みとして

### □ 地域活動への率直な振り返り

「何ができて、何ができていないのか」  
当事者が自らの言葉で語ること                      協働の前提として

### □ 拠点機能の再構築

自治の拠点としての公民館（？）  
不特定多数の市民による参加（利用）

### □ 行政としての役割発揮

支援体制の再構築                      支援のノウハウ・姿勢  
その前に・・・